

令和4年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

自然環境課

1 施設の概要等

施設名	広島県立中央森林公園（公園センター等地區）		
所在地	三原市本郷町上北方 1315		
設置目的	すぐれた自然環境にある森林を保護するとともに、その利用の増進を図り、もって県民の保健、休養及び福祉に資する。		
施設・設備	三景園、駐車場、バーベキュー広場、運動広場、サイクリングロード、研修室等		
指定管理者	4期目	H31.4.1～R6.3.31	(一財)中央森林公園協会
	3期目	H26.4.1～H31.3.31	(一財)中央森林公園協会
	2期目	H21.4.1～H26.3.31	(一財)中央森林公園協会
	1期目	H18.4.1～H21.3.31	(財)中央森林公園協会

2 施設利用状況

利用状況	年度	目標値 [事業計画]	入場者数	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)
	4期	R4	256,600人	240,600人	26,000人
R3		267,000人	214,600人	△14,300人	△52,400人 (80.4%)
R2		267,000人	228,900人	△28,800人	△38,100人 (85.7%)
R1		267,000人	257,700人	△5,820人	△9,300人 (96.5%)
	3期平均H26～H30	250,000人	263,520人	25,260人	13,520人(105.4%)
	2期平均H21～H25	255,800人	238,260人	△7,807人	△17,540人 (93.1%)
	1期平均H18～H20	—	246,067人	26,567人	—
	H17 (導入前)	—	219,500人	—	—
増減理由	行動制限が解除され、三景園、サイクリング等の利用者数は前年度より増加したが、バーベキューの利用が鈍かったことから、目標を達成することができなかった。				

3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	【実施方法】	【対象・人数】
	アンケートの実施	三景園 24 件、イベント 388 件、意見箱 12 件
	【主な意見】	【その対応状況】
	展望広場までの段差を改善して欲しい。 花木の名前が分かるようにしてほしい。	段差を乗り越えるスロープを設置した。 三景園で見ることのできるアジサイをマップでわかりやすくまとめ、アジサイガイドを作成した。

4 県の業務点検等の状況

項目	実績	備考
報告書	年度	○ 事業報告書
	月報	○ 月次業務実績報告書
	日報（必要随時）	—
管理運営会議（随時）	【特記事項等】 広島空港周辺施設との連携 【指定管理者の意見】 引き続き、空港周辺施設と連携した取組や新たな連携策の検討を行い、施設の利用促進を図る。	
現地調査（3月）	【県の対応】 指定管理者と連携しながら、県としても空港周辺施設との連携に協力する。	

5 県委託料の状況

(単位：千円)

	年度		金額	対前年度増減		年度		金額	対前年度増減
県委託料 (決算額)	4期	R4	56,884	△11,403	料金収入 (決算額)	4期	R4	41,401	5,495
		R3	68,287	10,307			R3	35,906	△4,833
		R2	57,980	4,722			R2	40,739	△5,259
		R1	53,258	2,343			R1	45,998	1,640
	3期平均 H26～H30		50,915	1,415		3期平均 H26～H30		44,358	5,035
	2期平均 H21～H25		49,500	4,880		2期平均 H21～H25		39,323	△3,013
	1期平均 H18～H20		44,620	△22,750		1期平均 H18～H20		42,336	12,749
	H17 (導入前)		67,370	—		H17 (導入前)		29,587	—

6 管理経費の状況

(単位：千円)

項目		R4 決算額	R3 決算額	前年度差	主な増減理由等	
委託事業	収入	県委託料	56,884	68,287	△11,403	新型コロナウイルス感染症に係る委託料の減
		料金収入(※1)	41,401	35,906	5,495	サイクリング施設等の利用増
		その他収入	46,857	40,374	6,483	売店及び喫茶売上の増
		計(A)	145,142	144,567	575	
	支出	人件費	71,218	67,672	3,546	委託業務の直営化による増
		光熱水費	11,136	7,914	3,222	燃料価格等の高騰による増
		設備等保守点検費	10,335	12,679	△2,344	草刈業務の直営化による減
		清掃・警備費等				
		施設維持修繕費	7,502	11,960	△4,458	委託業務の直営化による減
		事務局費	4,003	3,572	431	公課費の増
		その他	39,223	34,242	4,981	飲食等の売上増に伴う仕入れの増
		計(B)	143,417	138,039	5,378	
	収支①(A-B)		1,725	6,528	△4,803	
	自主事業 (※2)	収入(C)	—	—	—	
		支出(D)	—	—	—	
収支②(C-D)		—	—	—		
合計収支(①+②)		1,725	6,528	△4,803		

※1 利用料金制：公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業：指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

7 管理運営状況

項目		指定管理者 (事業計画、主な取組、新たな取組など)	県の評価
施設の効用発揮	○施設の設置目的に沿った業務実績	新型コロナウイルス感染防止対策を徹底したうえで、三景園、バーベキュー広場及びサイクリング等の利用に加え、利用者ニーズ等を踏まえた各種イベントを開催し、施設の利用促進を図った。	新型コロナウイルス感染防止対策を行いつつ、利用者ニーズを踏まえ、各種イベントを開催することで、適切に業務運営を行っている。
	○業務の実施による、県民サービスの向上	電動自転車やおもしろ自転車の追加購入を行うなど、利用者のニーズに対応した。	利用者ニーズを踏まえた自転車導入を行うことで、施設の魅力を高めている。
	○業務の実施による、施設の利用促進	周辺企業・施設と連携した謎解きイベントやスタンプラリーに参画するなど、地域のにぎわい創出に取り組んだ。	新たなイベントの実施に積極的に取り組み、更なる利用者の確保に取り組んでいる。
	○施設の維持管理	サイクリングコースにかかる樹木の伐採整理や草刈り、法面からの崩落土砂の撤去等の維持管理業務を行った。	適切に維持管理を行い、安全で快適な利用環境の提供に努めている。
管理の人的物的基礎	○組織体制の見直し	従業員の資質向上のため、研修受講や資格取得に積極的に取り組んだ。	職員のスキルアップを行い、適正な管理運営を行うための体制確保に努めている。
	○効率的な業務運営	施設の清掃について、可能な範囲での業務の直営化により業務の効率化に取り組んだ。	施設の管理方法の見直しを行い、業務の効率化に積極的に取り組んでいる。
	○収支の適正	経費削減に努め、収支は黒字を計上した。	施設管理の直営化等の経費節減を行う一方で集客増に向けた取組を行っており、収支の適正化が図られている。
総括		施設の利用者数が前年度より増加したものの、利用者数の目標は達成できなかった。今後も空港周辺施設との連携や更なる利用促進のイベント企画に取り組み、引き続き、収支の黒字化を図る。	利用者数の目標達成に向けて、利用者ニーズの調査・分析を行い、魅力的なイベントの企画や効果的なサービスの提供に取り組む必要がある。

8 今後の方向性（課題と対応）

項目	指定管理者	県
短期的な対応 (令和5年度)	利用者が増加するよう、空港周辺の周遊性も含めた、三景園や公園センターの魅力向上とともに、施設の更なる利用環境の改善を図る。	引き続き、安定的な利用者確保のため、より効果的なサービスの提供ができるよう必要な支援を行う。
中期的な対応	老朽化した施設の維持・修繕について、県と協力しながら適切に実施するとともに、利用者増となる効果的な取組を行う。	老朽化した施設の状況や利用者ニーズを踏まえ、指定管理者と協議を行い、優先度の高い箇所から計画的に対応を行うとともに、利用促進策について、必要な支援を行う。